

アンケートでのご意見等について

＜第8回懇談会 ご感想シート＞

- ピロティの場所ですが、保健室を西側にし、昇降口前をピロティにしてはどうでしょうか。
- 働く方の視点に触れることができよかった。10年後の教育を見据えた学校づくりが出来たら良い。
- ・中学生のイメージも聞いた良かったです。（私自身は小学生の子しかいないので、感覚がわからないところがあります。）
- ・前回もお願いしたところですが、工期に関する最新の資料がいただきたいです。（小学生の保護者は、自分の子が中学校に入るときに天沼中学校がどういう状態なのか知りたいと思うので共有したいです。）
 - ・ナースステーション的なスペースの配置は興味深く思いました。もう少し深めたいアイデアでした。
 - ・天沼小の半分オープンな空間の使い方は、新天沼中にも参考になりそうだと感じました。
- ・可動式の仕切りは防音がどこまで対応できるのか。専用の部屋（クラス教室）の増減に対応するために完全な個室ではなく、可動式扉などはどうか。
- ・伝統文化（茶道／華道）と和楽器（琴、三味線）
茶室と限定しなくとも畳を使用した和室は設置をしてほしい。
地域交流の場も兼ねるとなると、1階に配置してほしい。
 - ・ピロティの有効な使用案はたくさんあると思います。天沼中ベンチの役割を含め、生徒が自由に使い方を決めるスペースがあってもいいのではないのでしょうか（必要・不要と判断するだけでなく…）。
- ピロティについて、面積削減のための設置に思えてもったいないと思います。また、人目が届きにくい広場が学校の裏側にあるのは近隣としては心配ですので、作るならしっかり活用できる形にしていきたいです。
- 先生のコメントの第3点…これを取りのしたのでは
教師にとっての職員室の在り方（⇔“働き方”との関係とも）スペース／配置の再考というアイデア。教師と生徒の接触ポイントとして、何かアイデアがあるのではないか。このあたり、諸外国の学校、日本での私学を含めた試み、比較した場合どうなのでしょう。先生ともその辺り設計上の課題もあるとのご指摘があったのでは？以上、誤解があれば取り上げ無しで結構です。

○平面計画についてはほぼ固まりつつあると思う。

普通教室の壁については、フレキシブル性を持たせた方が良く考える。

校庭の材質については、人工芝が良いと思う。

南北が吹き抜けになり、砂が舞うことが考えられる。

第 8 回杉並区天沼中学校校舎改築検討懇談会 感想シート

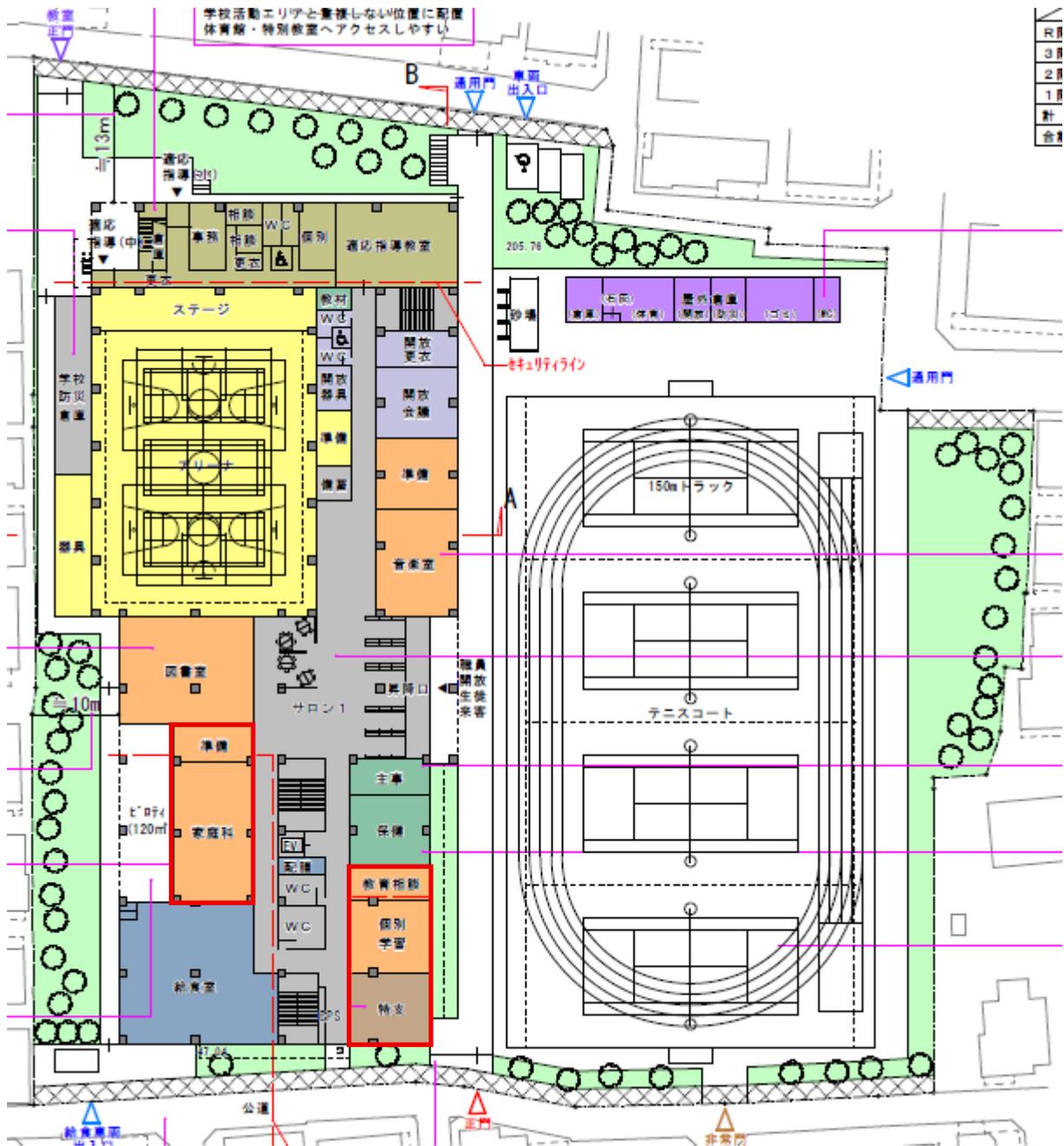
名前:土屋光久

第 8 回懇談会 感想シート

会にて発言できなかった事項も含め、以下に記述いたします。

1. 資料3、1F の教室配置について

○家庭科室+準備室⇔教育相談、個別学習、特別指導室の配置入替について
 ※グループワーク審議最終にて、黒澤先生より発案があった内容
 サイズとして丁度合致しており、柱の位置もオリジナル図面通りで問題なさそう(下記の図では非表現)であり、使用目的と配置についても良い案かと思い、賛同する。



2. 旧 B 案(北側校舎)からの改良案について

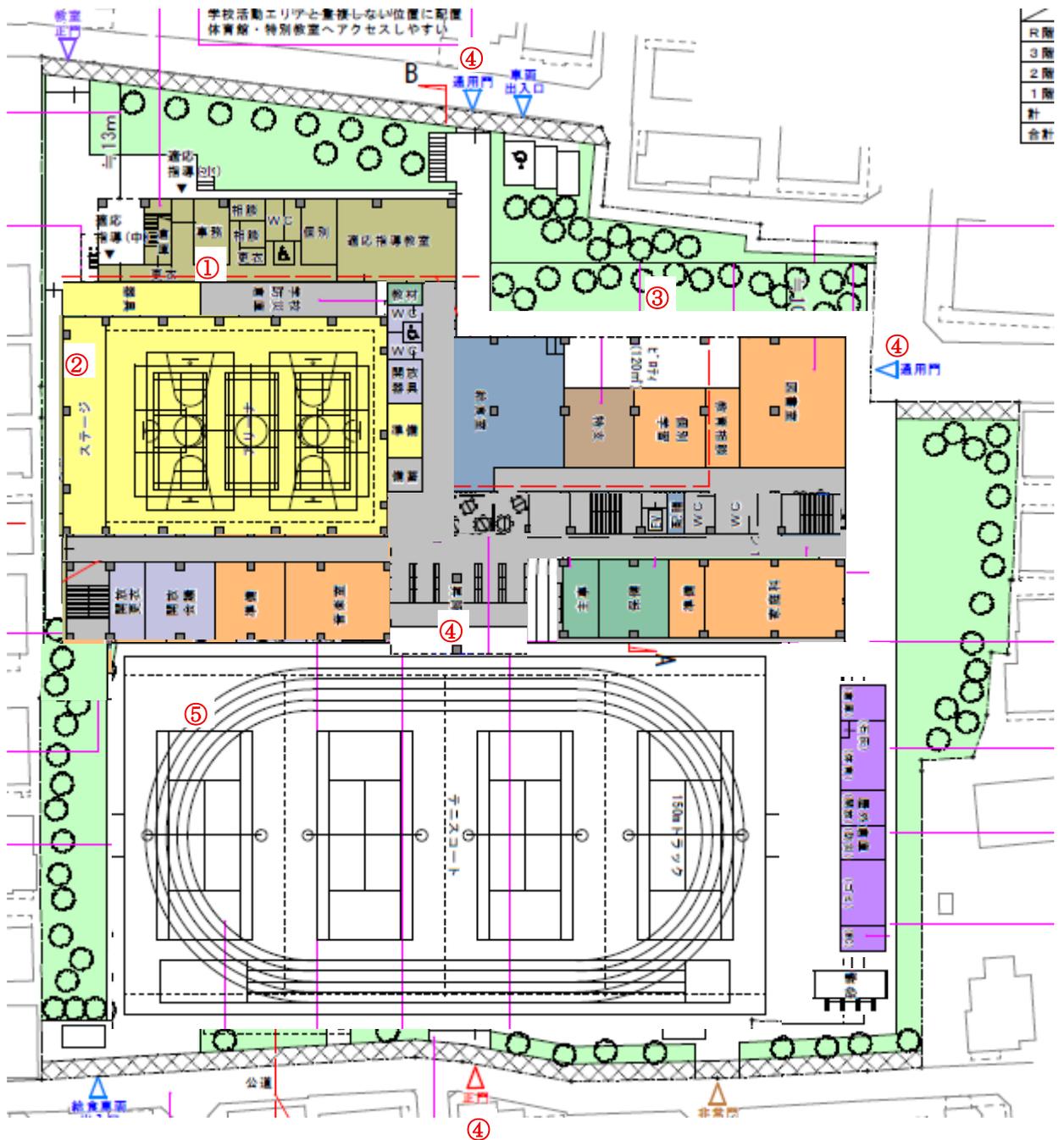
- 第 7 回での審議で、A 案が大方の賛同を得た際の、対案(B 案)があまりに性能評価が低かった要因が本校舎の南北方向の厚みが厚いゆえに運動場が広く取れない点であったと認識している。
- その A 案に賛同を得る際の対案 B 案を添付資料の内容に置換されれば、その評価は格段の違いがあり、特徴比較の少なくとも 4 点の△が○に転じると思われる。
- この検討結果も第 8 回審議で披露される旨を事務局とも合意していたが、結果として会議上で披露いただけなかったため、改めて意見シートとして、添付の通り提案する。
- 委員の中で、この案に賛成する委員が一人でも居られれば、遡って審議に加える必要が
あるかと思う。

比較項目		改案基本方針 方針番号 番号	A 案	B 案
校舎環境	教室配置	I, II, III, V	○ ・普通教室は2階、3階 東側(校舎側) に集約	○ ・普通教室は2階、3階 南側(校舎側) に集約
	適応指導教室	I, II, V	○ ・学校活動エリアと 重複しない位置 に配置 ・体育館・特別教室へ アクセスしやすい	△ ・別棟だが学校活動エリアに 近接する ・体育館・特別教室へ アクセスがしにくい → ○ ・学校活動エリアと 重複しない位置 に配置 ・体育館・特別教室へ アクセスしやすい
	窓先の環境、日照、採光	I, III, IV	○ ・普通教室は 東側採光	○ ・普通教室は 南側採光
	動線・アクセス	V, VI	○ ・生徒は 3方向 からアクセス可能 ・生徒・適応指導教室・開放の動線を分離	△ ・生徒は 1方向 からアクセス可能 ・生徒・適応指導教室・開放の動線が 一部近接 → ○ ・生徒は 3方向 からアクセス可能 ・生徒・適応指導教室・開放の動線を分離
校庭環境	校庭配置、形状、広さ	I, III, VI, VII	○ ・既存よりも 広くなる (現況+130㎡程度)	△ ・既存より 狭くなる (現況-450㎡程) 要再計算
	日照	I, III	△ ・冬季、午後にかけて 一部に日影が生じる	○ ・校庭に ほとんど日影が生じない
	車両アクセス	I, III, V	○ ・ 3方向 アクセス可能	△ ・ 1方向 からアクセス可能 → ○ ・ 3方向 アクセス可能
周辺環境	日影	III	△ ・ 西、東及び北側 の一部の日影範囲が既存より増える	△ ・ 西、東及び北側 の一部の日影範囲が既存より増える
	学校へのアクセス	II, VII	○ ・周辺道路 全て からアクセス可能	△ ・周辺道路 2方向 からアクセス可能 → ○ ・周辺道路 全て からアクセス可能
改築中の教育環境	仮設校舎	I, III	△ ・ 假設校舎 が必要(40ヵ月)	△ ・ 假設校舎 が必要(32ヵ月) 要再計算
	工事中の校庭	I, III	○ ・校地内に一部確保できる期間が長い(63ヵ月)	△ ・校地内に一部確保できる期間がA案より短い 要再計算

3. 資料3の運動場の配置について

- 現状の北側校舎(鉄筋 4 階建て)の校舎が無くなり、西側校舎 3 階建てに変わることにより、新運動場の部分が、南北に吹き通しの状況に変化することは明白である。
- その状況下で、特に冬場の北風(乾燥、強風)に対し、どのように環境が変化するかは懸念される材料であり、予めの専門家による『風のシミュレーション』が必要かと思われる。是非、事前の調査を執行いただけるよう希望したい。
- 資料3の運動場におけるサッカーコート上で、北東位置のコーナーキックを想像するに、現状の作図では、東門との位置関係においてプレイが厳しいと思われる。コートの位置を再調整するか、東門の門扉に一工夫が必要ではないか？

以上



【提案の要点】

- ①適用指導教室棟の配置は **A** 案のまま。
- ②アリーナを横向きに、その他の教室配置は、面積としてほぼ **A** 案と同じ。
※昇降口脇に一部屋分の拡大余地あり。特別支援室は狭くなり、要検討。
- ③緑地面積は増大。(北部)
- ④校舎への昇降口は南、正門は南、通用門は東、北で **A** 案と同じ。
- ⑤テニスコートのトラックからの独立は断念。

以上